

セーフコミュニティ年間活動報告書

本レポートは、毎年、認証された「月」の末日までに提出してください。

コミュニティ名	横浜市栄区
認証年月日	2013年 10月 5日
報告提出日	2014年 10月31日

〔報告書担当者〕 ※本報告書に関する問い合わせ等に対応できる方

よみがな 名前	なかやま ようこ 中山 陽子
所属（肩書き）	横浜市栄区役所総務部区政推進課長
電話番号	045-894-8331
E-mailアドレス	sa-kusei@city.yokohama.jp

指標 1 分野横断的な協働の仕組み

1-1. 過去1年に、セーフコミュニティ推進協議会等のSCの方向性を決定する組織および対策委員会等の重点課題に対する取組を推進する組織において大きな変更がありましたか？

はい いいえ

※「はい」と答えた場合は、変更点について詳細を記載してください。

例) これまで主な協働関係にあった方（組織）で担当でなくなった方や関係を解消した組織、あるいは新たに推進組織に加わった方（組織）など

--

1-2. 推進組織メンバーリストを添付してください・・・・・・・・・・・・・・・・〔添付1〕

リストには下記の項目を設定してください。

氏名	所属	肩書き	備考
			推進協議会長

1-3. 推進組織（SC 推進協議会）は、この1年間で何回開催しましたか？

①会議名・開催日・議題について下記に示してください

会議名	開催日	主な議題	備考
第1回栄区セーフ コミュニティ推 進協議会	2013年5月16日	(1)今後の取り組みについて (2)認証式及び国際フォーラムの開 催概要（案）について (3)その他	
第2回栄区セーフ コミュニティ推 進協議会	2013年7月22日	(1)認証式典及びレセプションの開 催概要について (2)国際フォーラムの開催概要につ いて (3)その他	

②各会議の「次第」「出席者リスト」「議事録」を添付してください・・・・・・〔添付2〕

1-4. 対策委員会委員のリストを添付してください。・・・・・・〔添付3〕

リストには下記の項目を設定してください。

対策委員会名	氏名	所属	備考
			会長
			副会長

※ 対象者やプログラムの数に応じて、上記の表をコピーして活用してください

1-5. 過去1年間で何回対策委員会を開催しましたか？会議名・開催日・議題について示してください。

①会議名・開催日・議題について下記に示してください

対策委員会名	開催日	主な議題	備考
こども安全対策	2013年6月17日	25年度のセーフコミュニティの動き他	
	2013年11月25日	各団体の取組について他	
スポーツ・余暇安全対策	2013年7月16日	分科会の今後の活動について他	
	2014年1月29日	分科会講習会の開催について他	
交通安全対策	2013年5月14日	25年度交通安全対策協議会総会資料について他	
	2013年11月8日	年末の交通事故防止キャンペーンについて他	
	2014年2月5日	全国交通安全運動・交通安全フェスティバルについて他	
暴力・虐待予防対策	2013年6月24日	こども家庭支援課からの報告他	
	2013年11月25日	セーフコミュニティ認証の報告他	
	2014年2月24日	事業の報告他	

高齢者安全対策	2013年7月1日 2014年3月11日	25年度栄区高齢者に関する事業の概要について他 グループホームと地域の連携や認知症高齢者の対応について他	
災害安全対策	2013年6月19日 2014年3月3日	25年度の取組について他 認証の報告、行動計画の進捗について他	
自殺予防対策	2013年5月30日 2013年8月8日 2014年2月6日	25年度自殺予防対策の取組について 9月自殺対策強化月間の取組について他 自殺予防対策取組状況報告及び3月自殺対策強化月間について他	
傷害サーベイランス	2013年8月5日 2014年3月7日	栄区の現状と課題について他 25年度の取組に対する自己評価について他	

②各会議の「次第」「出席者リスト」「議事録」を添付してください・・・・・・〔添付4〕

1-6. 過去1年間の財政マネジメントにおいて変化がありましたか？（資金調達方法など）

はい いいえ

※「はい」の場合、詳細について記載してください。

1-7. 次の1年間の財政計画について述べてください。

・セーフコミュニティ事業 6,560千円（26年度予算額）
SCフォーラム 2,000千円、SCの取組の推進 3,260千円、SC活動のプロモーション 1,300千円

1-8. 過去1年間で（対策委員会等の事務局ではなく、SC活動全体を担う）事務局機能において変更がありましたか？（事務局スタッフの変更や規模の変更など）

はい いいえ

※「はい」の場合、詳細について記載してください。

指標2 プログラムの包括性・持続性

2-1. 過去1年間で、全ての住民（全年齢・両性別）あらゆる環境や状況をカバーするための取組において変更がありましたか？（報告書に記載した取組において変更や追加等がありましたか）

はい いいえ

※「はい」と答えた場合、それは下記のマトリックスのどの領域ですか？

		子ども (0～14歳)	青年 (15～24歳)	成人 (25～64歳)	高齢者 (65歳～)
不慮の要因	家庭の安全	例) ①〇〇プログラム			
	学校の安全				
	職場の安全				
	余暇・スポーツの安全	さかえっ子体操			
	公共の安全 交通安全				
	自然災害				
意図的要因	暴力 (DV, 虐待含)				
	自傷・自死		いのちとこころ のホットライン	いのちとこころ のホットライン	いのちとこころ のホットライン

変更した内容について説明してください。

準備運動不足によるスポーツ競技中のケガを予防するために「さかえっ子体操」を作成しました。区内小学校での普及啓発教室や、スポーツイベント時の準備運動として実施するなど、区民に対し、スポーツ時の事故・けが予防の普及啓発を行いました。また、様々な場所で「さかえっ子体操」を実施することで、SCのプロモーションも推進する役割も担っています。

・死にたい気持ちを抱えている方や自死遺族の方の専用相談電話を開設し、相談体制を強化しました。

2-2. 過去1年間で重点的な領域・課題（項目）・対策委員会等において変更がありましたか？

はい いいえ

※「はい」の場合、詳細について記載してください。

例) 重点項目、政策、政治、個人、資金などにおける変化及びそれによってどのように協働や継続性、成果などに成果があったのか、など

例) ○○○を新たに重点項目に加え、それにともない○○○対策委員会を設置した。それによって、新たにこの分野において地域と行政の協働関係が構築された

2-3. その他、コミュニティの特性を生かした取組について、その進展について記載してください。

例) モデル地区の取組など

○高齢者を対象とした浴槽での溺死・溺水（ヒートショック）に関する取組

救急搬送データを重傷度別に分析し、死亡・重篤の割合が高い、高齢者の浴槽内での溺死・溺水対策について傷害サーベイランス分科会と連携して検討を開始しました。

○出前講座等の開催

セーフコミュニティ活動の認知度、関心度を向上させるため地区の会合等に出向き、出前講座を開催。

指標3 ハイリスクグループおよび環境に対する取組

3-1. 過去1年間で、ハイリスクの集団・環境・状況に変更等ありましたか？

はい いいえ

※「はい」の場合、具体的にその詳細を記載してください。

3-2. 過去1年間において、各ハイリスクグループや環境に対してどのような取組を展開しましたか？

その内容と取り組みの成果について記載してください。

※ 対象者やプログラムの数に応じて、下記の表をコピーして活用してください

ハイリスク対象	取組内容	成果
	別紙 指標3・4のとおり	

援講座」を開催し、受講した方が「子育てサポーター」として地域住民に啓発活動を行っています。

- ・防災訓練の実施

各地域防災拠点（区内20か所）では地域の方々を中心とした運営委員会が設置され、日頃から備蓄品の管理や防災訓練の企画・実施等が行われています。

特に、学校との連携により児童・生徒と地域と一緒に防災訓練を行う取組が広がっています。訓練参加者の固定化・高齢化が進んでいましたが、保護者による児童引き取り訓練を兼ねて行うなど、30代40代など若い世代の参加者が増えるように取組んでいます。また、避難所運営ワークショップの実施により、女性だけでなく、子どものいる家庭や高齢者・障害者への配慮など、様々な視点から避難所運営を考えるきっかけとなっています。

- ・自殺予防対策の担い手の育成

区内在住・在勤のすべての人がさかえ・ハートフルサポーター（ゲートキーパー）になることを目指して、基礎研修及びスキルアップ研修を実施しています。医療関係者、理美容師、教育・福祉関係者等気づきと見守りが特に期待される職域の従事者や、警察官・消防士等、未遂者・自損行為に対応する機会の多い職種向けの研修を重点的に展開しています。サポーター数は、累計882人と目標を上回り、着実に広がっています。さらに、サポーターの関心・意欲の維持のため、啓発活動のサポーターとの協働実施や、新たにサポーター向け通信の発行を行っています。また、サポーターの適切な対応により自殺企図を食い止めた事例もあり、身近なところでの気づき・支援の実現につながっています。

指標5 外傷サーベイランス

5-1. 報告書で示した計画通りに外傷データの分析を行いましたか？

はい いいえ

※「はい」の場合、そのデータの入手先、分析の方法・内容、分析結果の活用方法を記載してください。

救急搬送データ（栄消防署）【スポーツ・余暇安全対策分科会、交通安全対策分科会、】
交通事故統計データ（栄警察署）【交通安全対策分科会】
人口動態調査【交通安全対策分科会、災害安全対策分科会】
児童虐待の新規把握件数（横浜市）【暴力・虐待予防対策分科会】
介護保険認定データ【高齢者安全対策分科会】
栄区民アンケート（栄区）【災害安全対策分科会】
それぞれ、各分科会の事務局分析、傷害サーベイランス分科会での分析に活用しました。

5-2. 来年に向けて、外傷データの分析における課題や改善点すべきはありますか？

はい いいえ

※「はい」の場合、その詳細について具体的に記載してください。

今後の課題
・未把握指標（特定の対象者へのアンケートの実施が必要）の調査方法の検討。
・調査方法や規模を含め、継続的なデータ収集方法について改善する必要がある。

指標6 取組のアセスメント

6-1. 過去1年間のアセスメントを行いましたか？

はい いいえ

※「はい」の場合、評価の簡単な概要、どのように評価が取組の改善等に反映されているか、などの情報を示してください。また、関連する資料があれば添付してください。・・・・・・ [添付5]

- ・各取組の活動実績及び活動指標による評価
- ・傷害サーベイランス分科会で各種分科会の取組への評価・助言

※「いいえ」の場合、その理由を述べてください

6-2. 対策委員会による取組のアセスメントについて

各対策委員会が進めている取組の評価について述べてください。

※対策委員会やプログラムの数に応じて、下記の表をコピーして活用してください

※「評価指標」については、報告書と一致させてください。変更した場合は、変更点がわかるように赤字で記載してください

[対策委員会：]

対策名	短期評価 (意識・知識)	中期評価 (態度・行動)	長期評価 (外傷数等状況)
	別紙 指標6のとおり		

指標7 SCネットワーク（経験や知識の共有）

7-1. 過去1年間、次のネットワーク等に参加・貢献しましたか？

- | | | |
|------------------------|--|---|
| a) 国際的なSCネットワークへの参加・貢献 | → はい <input type="checkbox"/> | いいえ <input checked="" type="checkbox"/> |
| b) 国内のSCネットワークへの参加・貢献 | → はい <input checked="" type="checkbox"/> | いいえ <input type="checkbox"/> |
| c) アジア地域のSCに関する行事等・貢献 | → はい <input type="checkbox"/> | いいえ <input checked="" type="checkbox"/> |

※「はい」と答えた場合、その内容について概要を記載してください。

b)国内ネットワーク（視察受け入れ等も含む）

2013年7月 宮崎市健康管理部視察受け入れ

7月 セーフコミュニティ研修会

7-2. 過去1年間、住民に対して行ったフィードバックについて記載してください

例) 取組の進捗状況、成果等に関する報告など

○認証取得に関連した取組

- ・セーフコミュニティの認証取得をこれからの栄区の発展につなげていくため、認証記念式典と国際フォーラムを開催。記念式典では、セーフコミュニティメッセンジャーとして、「さかえ竹の鼓KIDs♪」を立上げるなど、子ども達も参加し、次世代につながる認証記念式典としました。
- ・広報「よこはま」栄区版9月号で認証取得記念としてセーフコミュニティを特集。各分科会の取組を紹介しました。

○研修・説明等の取組

- ・地域の連合町内会長が集まる区連会等の会議や、新任自治会町内会研修などの各種研修において、セーフコミュニティの活動について説明・情報提供。
- ・区主催の官公署や企業が集まる会議で、セーフコミュニティの活動について情報提供。
- ・セーフコミュニティ活動の認知度、関心度を向上させるため地区の会合等に出向き、地区センターや区民活動支援協会などで出前講座を実施しました。

8. その他

8-1. この1年間でもっとも積極的に取組んだ活動は何ですか。取組みの経緯・経過を含めて説明してください。

・分科会の運営管理、指標の管理

P D C Aサイクルにより、セーフコミュニティの取組をしっかりと推進していくため、区内部での推進体制を整えると共に、サーベイランス分科会が専門家の立場から取組を評価・助言し、継続的に見直しを行う仕組みを整えました。

8-2. 最後に、SC活動およびSCネットワークについて自由にお書きください。

・セーフコミュニティの仕組みを取り入れることにより、縦割りになりがちな施策も、相互に連携し横断的に進めることにつながっています。また、行政の施策だけではなく、地域の活動が継続的に行われ、認証取得が各活動の自信を高めることで、さらなる地域の活性化につながっています。

添付資料

次の資料が添付されていることを確認したうえで提出してください。

※ 添付したものは「□」を塗りつぶしてください。

■添付1：推進協議会メンバーのリスト

■添付2：推進協議会の「次第」「出席者リスト」「議事録」

■添付3：対策委員会メンバーのリスト

■添付4：各対策委員会の「次第」「出席者リスト」「議事録」

□添付5：アセスメントに関する資料

□添付6：市民へのフィードバックに関する資料

■資料（別紙）：指標3・4 対策委員会の取組について等

■資料（別紙）：指標6 対策委員会による取組のアセスメントについて

本レポートは、「ワードファイル」で、認証月の末日までに 支援センターに提出してください。
添付書類については、どの項目に対する添付資料かわかるようにしてご提出ください。